

令和4年度 研究データ利活用協議会 (RDUF)
公開シンポジウム プログラム

日時：2022年11月11日（金）14：30-17：30

開催方法：オンライン（Zoom ミーティング）

開催概要：

RDUF の活動報告や、RDUF 会員による国内の研究データ利活用に関する活動紹介等を行います。またプレナリーセッションでは『データ時代の新しい情報通信基盤のありかたについて』をテーマとした講演を行います。

時間	内容
14:30～14:35	開会挨拶
14:35～14:45	研究データ利活用協議会の活動の紹介
14:45～15:20	小委員会の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人文学・社会科学のデータ共有における課題検討（10分） ・ 研究データへの DOI 登録促進（10分） ・ 実験・観測機器への PID 検討（10分） ・ 質疑応答（5分程度）
15:20～15:45	部会活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ データ共有・公開制度検討部会（10分） ・ ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)（10分） ・ 質疑応答（5分程度）
15:45～16:35	RDUF 会員による研究データ利活用に関するライトニングトーク （各5分：質疑応答なし） 1. 『JPCOAR 研究データ作業部会の2022年度活動について』 結城憲司(九州大学附属図書館) 2. 『宇宙科学分野のメタデータスキーマ SPASE と JPCOAR スキーマとのマッピングについて』 直江千寿子(名古屋大学) 3. 『JAMSTEC におけるデータへの DOI 付与の進展』 福田和代(国立研究開発法人 海洋研究開発機構) 4. 『論文のどこに、どんな形式でデータが引用されているか？—DIAS での実態調査』 中原陽子、北本朝展、清水敏之、島井博行、吉川正俊(京都大学、国立情報学研究所、九州大学)

	<p>5. 『データの利用成果を収集・共有するには？—Mahalo Button の活用事例』北本朝展, 中原陽子, 清水敏之, 島井 博行, 吉川 正俊(国立情報学研究所, 京都大学, 九州大学)</p> <p>6. 『MDR Schema の紹介』田辺浩介(物質・材料研究機構)</p> <p>7. 『学認 LMS で学ぶ『情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント』』古川雅子, 元木正和, 青木学聡(国立情報学研究所, 東北大学, 名古屋大学)</p> <p>8. 『研究データ管理情報サイト RDMkit-jp の開発』大波純一(国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター)</p> <p>※発表順は前後する可能性があります。</p>
16:35～16:45	休憩 (10 分程度)
16:45 ～17:25	<p>プレナリーセッション</p> <p>テーマ: データ時代の新しい情報通信基盤のありかたについて</p> <p>講演者: 越塚 登 (東京大学)</p>
17:25～17:30	総括

※上記内容については変更される可能性があります。あらかじめ、ご了承ください。